

今年は2羽の「白いツバメ」

よしゆき
 小西良幸さん（御厨・小船）方で、白いツバメが生まれました。
 牛舎の梁にある巣で6月初めごろに生まれた5羽の内の2羽。白いツバメが
 生まれるのは今年で4年目です。
 親鳥が巣に近づくと、白いツバメは大きく口を開けて餌をねだっていました。



まつら

Matsuura

Contents

特集 松浦市民病院

—市民の身近な病院に— 2~5

インフォメーション..... 6~11

とき
旬の人.....12~13

まちの話題.....14~15

保健・年金..... 18

リレーエッセー..... 20

自然の家
 個性あふれる
 交流の場
 2006.8.1

8月号

2006

No.8

特集

松浦市民病院

—市民の身近な病院に—

松浦市民病院は、昭和 22 年 6 月に開院以来、「地域の皆さまにやさしさと思いやりをもって良質の医療を提供します」を理念としており、現在まで多くの市民の皆さんに利用されてきました。

しかし、医師不足のため診療科目が減るなどしたため、現在は厳しい経営状況にある市民病院。

そこで今月号では、この状況を乗り越えようと頑張っているスタッフの取り組みや、さまざまな検査が可能な検査機器などを紹介します。

市民の身近な病院であってほしい。今一度、市民病院のよさを再発見してみてください。



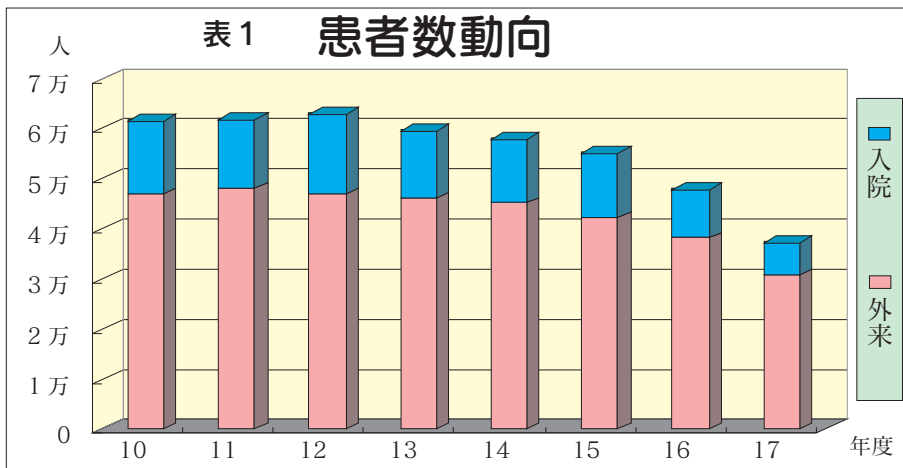
市民病院の現状

市民病院では内科、外科、眼科、整形外科、放射線科、アレルギー科および透析診療を行ってききましたが、平成16年11月、外科医師の派遣が停止されてから、外科診療と救急業務ができなくなりまりました。また、昨年4月には整形外科を休診、今年6月から眼科の診療が週一回になってしまいました。

このような要因が重なり、患者数は表1のように減少傾向にあり、経営も厳しい状況が続いています。

現在も、医師の確保に努力しており、目的がつき次第、外科診療等を再開する予定です。

市民の皆さんにはたいへんご迷惑をおかけしていますが、市民の身近な病院であってほしい、多くの市民に利用してもらいたいという一心で、スタッフ一同毎日の業務を行っています。この現状を乗り越えようとスタッフたちが行っている取り組みを次のページで紹介いたします。



外来案内

- 診療科目 内科、放射線科、アレルギー科、眼科（毎週木曜）
 - 診療日時 月曜～金曜（祝日、年末年始は除く） 午前9時～正午、午後1時～5時15分
 - 受付時間 午前8時30分～11時、午後1時～3時
- ☆休診日でも、内科の緊急受診はご相談ください。

※ アレルギー科

原因物質が同じでも、人によって、また同じ人でもその時によって、眼や鼻、耳、皮膚、気管・気管支、胃腸などに、いろいろな症状を起こしてくるアレルギー疾患を診療する科目。
【対象疾患】 気管支喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症、蕁麻疹、食物アレルギー、金属アレルギー、アレルギー性鼻炎など



明るい笑顔で 明るい院内

院内で組織される接遇委員会が中心となって、市民病院のスタッフはさまざまな取り組みを行い、より明るい市民病院を目指して活動しています。

接遇委員会

接遇面の向上を目的に昨年結成された「接遇委員会」。年間を通して主に次のような活動に取り組んでいます。

毎月の月間目標

特に強化する月間目標を毎月定め、取り組んでいます。

今年度4月はあいさつ月間、5、6月は身だしなみを整える月間で、スマイル月間の7月は、スタッフ全員でスマイルバッチを付けて意識付けをしながら取り組みました。

そして、目標期間が終わったら、委員会を開催し、改善点などを話し合い、今後の活動に生かしています。

標語を募集し院内掲示

スマイル月間の活動の一環としてスタッフから標語を募集しました。約60作品が集まり、優秀賞と佳作の上位4作品を院内に掲示しています。標語と一緒に咲いている花はスタッフ手製のちぎり絵作品です（写真下）。

毎朝の接遇面申し合わせ

毎朝、接遇マニュアルを使つての

「来てよかった」と
感じてもらえる
接遇を

接遇委員会

川浪さき子委員長



委員会では、患者の皆さんに安心を与えるよう心がけ、さまざまな活動を行っています。

毎月の月間目標を立てることや、接遇マニュアルを見ながらの毎朝の申し合わせは、普段から気をつけるべき当たり前の内容なんです。が、確認し合うことで意識が違ってくる。

以前、外来患者の方に「あなたの笑顔ば見に来たばい」と言われた時には、看護師をしていてよかったとたいへんうれしく思いました。これからも、「来てよかった」と思ってもらえるような接遇を心がけ、特に院内のスタッフ間のチームワークをより強固なものにし、市民病院を盛り上げていこうと思います。

を自由に書いてもらいました。

院内新聞制作

身だしなみなどの基本的な内容の確認を行っています。

七夕飾りの設置

年2回、院内の情報掲載する「院内新聞」の作成・配布を行っています。

明るい院内になるよう、七夕飾りを設置しました。飾りつけなどはスタッフが中心となって行いましたが、外来患者の皆さんにも短冊に願ひ事



院内に掲示された優秀賞の標語作品

充実した検査機器

市民病院には、CTをはじめ、充実した検査機器が揃っています。

ここでは検査機器等をいくつか紹介します。少しでも体の不調を感じたら、検査を受けてみましょう（いずれの検査も、短時間で結果がでます）。

放射線検査機器

外観ではわからない人体内部の様子を画像化し、医師が病気の診断を行うための情報を得る重要な機器です。



CT検査の様子

肺の立体画像

スパイラルX線CT装置

患者の周囲をらせん状に高速連続回転し、短時間で広範囲の連続した画像が得られます。また、必要に応じて三次元立体画像表示も可能です。

デジタルX線画像診断システム

コンピュータによる画像処理により軟部から骨部まで豊富な診断情報と安定した鮮明な画像が得られます。

デジタルX線テレビ装置

従来よりも少ないX線で撮影が行え、食道・胃・腸などの消化管の状態や肝臓・膵臓・腎臓などを取り巻く血管の様子を、そのままリアルタイムで見ることが出来ます。

骨塩量（骨密度）測定装置

骨粗しょう症の診断や治療の経過観察を行うために、X線で橈骨（腕の骨）の骨塩量を測定する機械です。



多目的分析装置

臨床検査機器

いろいろな症状に応じて、医師の判断により臨床検査を行います。短時間で検査結果が得られますので、医師が病気を特定する診断材料のひとつとして大きな役割を担っています。

多目的分析装置

肝機能、腎機能などを測定する機械です。

血液ガス分析装置

血中ガス（動脈血の酸素や二酸化炭素など）濃度を測定する機械です。

免疫化学発光装置

腫瘍マーカー、感染症、ホルモン検査などを測定する機械です。

糖尿病教室を開催しています

市民病院では、患者の皆さんを対象に糖尿病教室を開催しています。少しでも糖尿病治療中の人の手助けになれるよう、糖尿病の原因や食事療法、運動療法、薬物療法などをわかりやすく説明しています。

糖尿病などの生活習慣病の治療は、薬を服用するだけでなく、からだによくない生活習慣を改めることが重要です。

患者の皆さんが正しい知識を持つことが、治療の効果を向上させることにつながります。



糖尿病教室の様子